

05

花粉症について

医療の
小ネタ

花粉症の症状は、「本人の感受性の高さ×粘膜に接触した花粉の量」で決まります。今年花粉の量が圧倒的に多く、おまけに黄砂まで重なったもので、予防のタイミングが遅れて感受性の高止まりしたままの方は、かなり強い目の痒みや鼻炎症状に悩まされたことと思います。

さらに今年の特徴として、花粉を吸い込むことで発症した咳喘息が、例年と比べて異常に多いことと、急性副鼻腔炎の合併が多いことが挙げられます。

とくに副鼻腔炎は、鼻炎症状が出始めてすぐに膿性鼻汁となり、早くから抗生剤を使わなければならないケースが数多く見受けられました。



ところが今年はそのような卒業生^^がこぞって受診し、久しぶりの再会を喜び？合いました。

今年花粉の飛散量が如何に多かったかを物語るエピソードですね。